

要望が
実現
しました!

安心安全、
また一歩前進!

都市計画道路新堂南線・東大塚美陵線開通 ^{みささぎ} 3/31



柴垣歩道橋改修
(西大塚2丁目)

水路防護柵設置
(一津屋2丁目)

道路改修
(西大塚1丁目)



緊急時に備えて
もしもキット・もしもカード

「もしもキット」…緊急時における高齢者・障害者等の安心安全を確保することを目的に、緊急連絡先や医療の情報などを書いた情報シートをペットボトルなどに入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておき、万一の場合(もしも)に備えるものです。

「もしもカード」…外出時でも、カバンや財布、手帳ケースなどに「もしもカード」を入れ携帯することにより、外出先での万一の場合(もしも)に備えるものです。

松原市HPよりダウンロードか、老人センター・高齢者介護課(市役所/2F)においても配布しております。
ひとり暮らし高齢者の方、高齢者のみの世帯の方、障害者の方など、健康上に不安を抱える方などご利用ください。

松原市マスコットキャラクター
「マッキー」のグッズを発売します!

販売価格
マッキーぬいぐるみ(高さ25cm 2,160円 70体)
マッキーキーホルダー(高さ10cm 432円 800個)
※なくなり次第販売は終了になります。

販売場所
●河内松原駅前ゆめニティまつばら 3階ゆめニティプラザ
●松原市役所4階秘書広報課(広報)
※市のふるさと納税のお礼の品としての提供も予定しています。
◆お問合せ:秘書広報課



何かございましたら、
お気軽にご相談下さい。

みえまつ 清子
連絡先 電話番号 tel.334-1550 内線2361(松原市役所/公明党議員控室)
tel&fax 333-1478 自宅



ひまわり通信

第36号
2016年
春号

発行責任者:三重松 清子(後援会)
〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX(072)333-1478

みなさま、こんにちは! 三重松 清子です。

若葉に風薫る好季節の到来です。各家々の玄関や庭先には色鮮やかな花々が咲きほこり、周りをパッと明るくしています。桜花の季節からツツジ、菖蒲へと。身体も自然に動き出しそうです。さあ!ハイキングにでも出かけてみませんか?

念願の新堂南線が開通しました。次は、大塚運動広場、野外活動広場の整備です。今年度の予算で調査費用が計上されました。市民の皆さんに喜んで頂ける施設となるよう努めます。

平成28年度予算 主な事業の案内

妊婦健康診査事業

妊婦の健康管理の向上と健やかな出産を迎える為に、妊婦検診において、市内医療機関(4カ所)での医療費の本人負担がゼロとなるよう助成額を拡充。(84,090円⇒100,790円)



高齢者自転車用ヘルメット購入費助成事業

高齢者の自転車乗用中の交通事故により、頭部を受傷し、重症化するケースが多くなっています。平成28年4月1日施行の「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の中で、高齢者のヘルメット着用の努力義務が明記され、65歳以上の高齢者を対象に自転車用ヘルメット購入費用の一部を助成。



子ども医療費助成事業

入院医療費の助成対象年齢を小学校卒業から中学校卒業までへと引き上げることで、子どもの健やかな成長を支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減。



三世帯近居等助成事業ほか

次代を担う若者世代の市内定住を目指して、婚活イベントを企画するほか、市内に住む親世帯と近居する子世帯などを対象とした、住宅取得に係る登記費用への一部助成制度を創設。



地域子育て支援拠点事業ほか

子育て支援センターを新たに2カ所開設し、子育て相談を充実することで、保護者の不安感や負担感を軽減します。また、子育て支援センターなどの利用で、各種特典が受けられる事業をスタート。



(松原子育てポイントカードを導入) 子育てに役立つ物との交換ができ在宅子育て世帯を応援。(6月開始予定)

観光事業

観光誘客の観点から市内経済活性化の向上のため、ホテル誘致と観光事業に取り組むなど、まちのにぎわいを創出します。
4月1日より、観光課を新設。



平成28年3月議会 代表質問



1. 平成28年度当初予算について

問：本市の財政状況とH28年度の重点施策について **答**：行財政改革と、選択と集中による予算編成より黒字を堅持。安心安全なまちづくりへの取り組み、検診費用や医療費助成の拡充等、将来を見据えたまちづくりに重点を置いた。

問：電力自由化に向けて本市の対応について **答**：現在3年契約中、H28年度研究し、取り組んでいく。

問：H25年12月に公布・施行された「国土強靱化基本法」では、「国土強靱化地域計画」を定めることが出来ると明記されているが本市としての取り組みは **答**：橋梁の長寿命化事業、計画の作成。H24・25年で7橋の修繕と一部耐震化工事を実施。現在、大阪府が策定中であるので今後研究していく。

問：昨年の市制施行60周年記念行事の検証と今後の方向性について **答**：観光親善大使 flumpool によるライブの実施、マッキーのゆるキャラグランプリ参加等60周年を活用したPR事業の継続、子ども議会、まつばらかるたの活用についても継続、準備をしていく。

問：「新地方公会計制度」導入についての進捗状況と日々仕訳について **答**：年度内に固定資産台帳の整備終了の見込み、日々仕訳の作業については、ハードルは高いが、リアルタイムな財務書類の作成が可能となり、行政運営上役立つものである。

要望：導入時期にどう対応するかが重要、日々仕訳が出来るように

問：公有財産の有効活用について **答**：関係部局が連携し、市の施策としての利活用を検討し、調査・研究をして、活用方針が決まった財産から有効活用している。

要望：若林リサイクルセンター建設予定地について、都市計画変更、廃止の手続きが完了。空き地で置くのではなくスピード感を持って利活用出来るように

2. 平成28年度施政方針から (1) 高齢者対策について

問：「介護予防支援きらり事業」について、この1年の経過と今後について **答**：H26年度からの実施で登録者98名。H28年度は、活動員をさらに増やし、活動評価ポイントを増額する。

問：全国の自治体で「祖父母・孫手帳」が作られ好評である。本市においても作成を **答**：高齢者対策部局と子育て支援部局の連携を図り、調査研究する。

問：12月開設予定の「まつばらテラス」の活用について **答**：介護予防の拠点と同時に子育て支援センターも設置するので世代を超えた交流事業の実施を検討中。

問：認知症サポーターの養成について。大人から子どもまで認知症サポーター養成講座を確実に実施を **答**：ぜひとも力を入れて小・中学校でサポーターの養成をしていくよう指導していきたい。

要望：住民を守るためにも、早期に全職員の受講を

(2) 子育て支援について

問：助産師が複数配置されている特色を活かし、本市独自のネウボラの構築を **答**：保健師、助産師及び臨床心理士等専門資格を持つ職員の連携により、本市の実情に合った産後ケアや子育て支援事業を総合的かつ一体的に展開出来るよう努める。

要望：産後ケアとして、新生児も看てもらえるファミリーサポートの拡充を

問：「子育てポイントカード」について、どのようなものかを考えているのか **答**：在宅で子育てしている家庭についてのサポートを充実させる手段。子育て支援センターの利用や講演会参加により、ポイント付与。ポイントで子どもに関する品物(おもちゃ・ミルク・おむつ等)と交換。

問：乳幼児期からの記録を統一した様式で作成する障害児の記録ノートを作成をすべきでは **答**：具体的なツールとして、今後検討していく。

問：子ども食堂の運営費等について、市の認識は **答**：・NPO法人が実施。社会福祉協議会の善意銀行から助成、有志の方の寄付で運営。(4月以降約200円程度の自己負担予定)・行政として周知、地域連携、ネットワーク作りを通し、活性化を

要望：独居高齢者の方も利用できる“地域食堂”的な活用も検討を

(3) 安心安全なまちづくり

提案：「被災者支援システム」が導入について **要望**：システムを多くの職員が使いこなせるように。防災、減災にも利用できるシステムであるので今後のまちづくりに活用を

問：空き家等対策事業についてどのような対策をしているのか **答**：空き家77件を把握。府のガイドラインや特措法により内10軒が解決。空き家に関する対策協議会を設置し、対策計画の策定を行い対策を進める。

要望：特定空き家になる前の段階で“空き家バンク”等による利用の促進を

提案：自転車事故防止について **要望**：自転車のID化による安全・安心な自転車社会システムの研究を

(4) 元気あふれるまちづくり

問：小さな拠点づくりから松原南図書館の活用の方向性は **答**：コミュニティセンターとして整備。子どもから高齢者まで利用できる地域の拠点施設として活用。災害時には避難場所としても利用。

要望：シルバー人材センターの利用も含め検討を

問：「国際交流事業」について、新たな海外都市との交流に向けた取り組みとは **答**：新たな海外都市との交流を考えている。(阪南大学が留学協定を結んでいる英語圏の大学を参考に調整)

問：本市独自の「奨学金制度」(大学受験料の助成等)の創設を **答**：子どもの貧困対策に関する大綱に関する取り組み。ふるさと松原に貢献する将来の市民の育成につながる観点から研究、検討していく。

問：職員の育成について **答**：職員の能力開発とともに、頑張っている職員を評価することで、組織の活性化と住民サービスの向上を図る。

要望：市民の皆さんの要望を聞き対応していくには、ゆとりを持って市民サービスに当たることが不可欠。常に冷静に対応できるよう育成を

平成28年3月議会 福祉文教委員会協議会 一般質問



1. 投票率向上に向けて (1) 期日前投票について (公職選挙法の一部改正法律案から)

問：本市における駅利用による投票所の設置についての考えは **答**：市内4駅での実施は、スペース的に困難。

問：投票時間の延長については、どうか(午前6時半から午後10時) **答**：今までの現状とコスト面も考慮して、早急には考えていない。

要望：本市の実績にあった投票所の検討を
他市の例から天美地区のショッピングセンター建設時には検討を

(2) 18歳選挙権について

問：主権者教育の一環である小学校への出前講座の実績と感想について **答**：6年生を対象にH26年度から実施。H26年は、7校548名、H27年度は、13校923名受講。「18歳になったら選挙に行きたい」「今度の選挙には家族と一緒にいきたい」等

要望：投票率が低い30代40代の親世代の啓発になるよう更に推進を
全員が有権者となる大学の大学祭などで啓発のイベントの実施を